

健介事第1705号
令和2年3月31日

指定居宅介護支援事業者及び事業所管理者 各位

横浜市健康福祉局介護事業指導課長

利用者本位の介護サービス選択に資する情報活用の御協力について（依頼）

陽春の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から、介護保険事業の推進に御理解・御協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、本格的な超高齢社会の到来を見据え、介護分野において様々な情報技術等を活用しながら課題解決に向けた共同研究を進めるため、昨年3月に民間企業4社と「介護分野におけるオープンイノベーションによる課題解決に関する研究協定」を締結しています。

その取組の1つとして、協定締結企業である株式会社ウェルモ様が、専用ウェブサイト（ミルモネット）や冊子版（ミルモブック）に通所系サービスを中心とした各介護サービス事業者の特徴や写真等を掲載し、情報提供していただいています。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所の専門職の皆様にも、利用者本位のサービス選択に資する情報としてご活用いただけるよう、御案内いたします。

また、同社から御連絡がありました際には本協定とその取組の趣旨への御理解と御協力についてお願い申し上げます。

- お問い合わせ先
株式会社ウェルモ（ミルモサポートデスク）
電話 03-6205-7309
e-mail : milmo_support@welmo.co.jp

- 添付資料(参考)
昨年3月の協定締結の際の記者発表資料

介護事業指導課 運営支援係
電話： 045-671-3413
FAX： 045-550-3615

「介護分野におけるオープンイノベーションによる課題解決に関する研究協定」を 民間企業4社と横浜市が締結

～『ケアテック・オープン・ラボ横浜』始動～

横浜市は、このたび、株式会社ウェルモ（本社：福岡県福岡市、代表取締役CEO：鹿野 佑介）、株式会社ジェイアーク（代表取締役：青木 英憲）、株式会社ツクイ（代表取締役社長：津久井 宏）、富士ソフト株式会社（代表取締役 社長執行役員：坂下 智保）と、相互に連携・協力し、本格的な超高齢社会の到来を見据え、介護分野において様々な情報技術等を活用しながら、課題解決に向けた共同研究を開始することに合意し、本日、「介護分野におけるオープンイノベーションによる課題解決に関する研究協定」（以下「本協定」）を締結しました。

また、本協定の締結を契機に、介護とICTを融合させ、それに伴うイノベーションを促すため、開かれた対話と実証実験の場を提供するプラットフォームとしてケアテック・オープン・ラボ横浜を始動させます。

経緯

- ウェルモ様より、横浜市においてICTを活用した介護サービスの「見える化」に向けた取組を推進したい旨、共創フロント（※1）にご提案いただきました。
- 同時期に、市内企業のジェイアーク様、ツクイ様、富士ソフト様からも、AIやIoT等の先端技術を活用したオープンイノベーションを促進し、介護分野における課題解決に取り組みたい旨の相談が、共創フロントに寄せられました。
- その後、横浜市を含めた5者による協議を経て、本協定締結に至りました。

※1 「共創フロント」とは

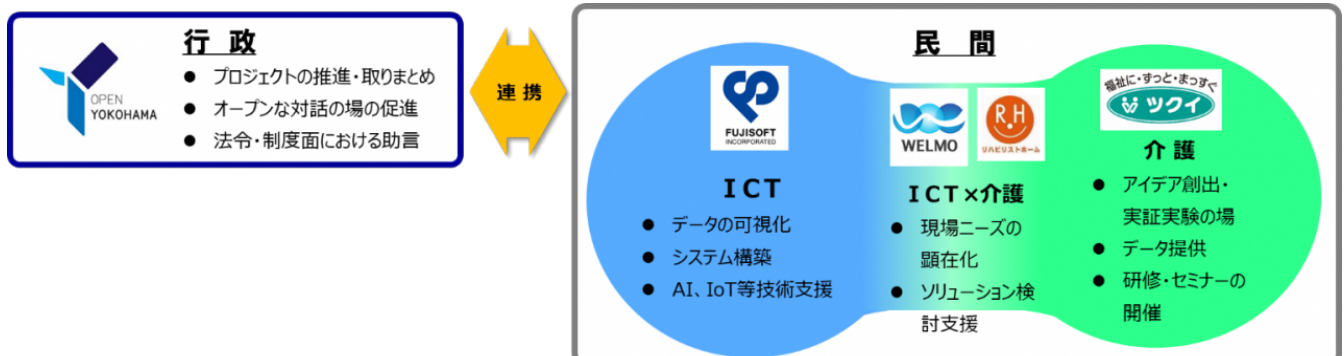
行政と民間が互いに対話を進め、新たな事業機会の創出と社会的課題の解決に取り組むために、横浜市が設置した相談・提案受付窓口です。

[HP] <http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kyoso/front.html>

本協定の特徴

- 介護事業者とICT企業という異分野の企業が先端技術とデータ活用を通じて連携
- 横浜市内に本社を置く事業者が中心となった地域発意型の取組
- 超高齢社会が進展する中で、高齢者の生活の質の向上や要介護度の重度化防止などを推進し、誰もが身近な地域で生き生きと活躍し続けられる社会づくりを志向した取組

【連携イメージ】



主な研究テーマ

新しいケアモデルの確立、介護現場における業務効率の改善や高度化、介護サービスの質の向上等を図ることを目指し、次のテーマを中心に研究を進めます。

研究テーマ1 官民が保有する情報の収集・分析・発信のあり方

研究テーマ2 公民連携によるA I、I o T等の先端技術活用のあり方

研究の主な取組内容

▶ 介護サービス施設・事業所の詳細情報の提供 **研究テーマ1**

介護サービスの利用者やその家族がニーズに応じたサービスを選択できるよう、行政区など特定の地域内の介護事業者、各種サービス提供団体等に関する様々な情報（サービスの特徴、得意分野、定員の空き状況等）の収集と、収集した情報の提供にあたっての紙やWEB等多様な媒体の活用による効果的なあり方を研究します。

* 本協定締結に先行し、鶴見区・戸塚区において、介護サービス情報を可視化する「ミルモブック（※2）」を、(株)ウェルモと各区内の介護関係者との連携により作成・発行しました。

※2 ミルモブックについて

[HP] <https://welmo.co.jp/service/>

▶ A IやI o T等の先端技術の活用 **研究テーマ2**

ケアマネジャーや介護スタッフ等の業務負担を軽減するとともに、利用者に対するサービスの質を高めるために、A Iを活用したケアプランや通所介護計画の作成支援など、介護現場の業務改善に向けて研究します。

こうした研究は、大学等の研究・教育機関、企業等とともに、介護サービスの利用者やその家族などの当事者や介護・医療関係者を交えた対話の場（リビングラボ（※3）等）を通じて展開します。

※3 「リビングラボ」とは

身近な地域の課題をテーマとして、住民を中心に様々な知見を有する企業、大学等と連携して課題解決のための対話を行う場をいいます。参加者の現状認識の共有化のため、官民データを活用して課題の可視化を進めながら、自由にアイデアを出し合うことで、新たな解決策を見出していくことが期待されています。

▶ 介護業界のイノベーション人材の育成 **研究テーマ2**

介護業界とI C T業界の双方の人材が交流し共創する場やプログラムを、様々な企業、大学・専門学校・高校等の教育機関と連携して提供するなど、介護とI C T双方の視点や知見を併せ持つ若い人材の育成に取り組み、介護業界のイノベーション人材の輩出を目指します。

* 本協定締結に先立ち、5 者が連携し「介護デジタルハッカソン in 横浜（※4）」や「YOKOHAMA YOUTH Ups! 2018-2019（※5）」へのアドバイザー派遣、社会実証の場の提供など、様々な取組を開始しています。

※4 介護デジタルハッカソン in 横浜

[HP] <http://yokohama-youth.jp/win2018/>

※5 YOKOHAMA YOUTH Ups! 2018-2019

[HP] <http://yokohamaopendata.jp/2019/02/24/youthups2018-2019/>

<中長期的な取組>

▶ 民間事業者間における効果的なデータ連携のあり方に関する研究

研究テーマ1

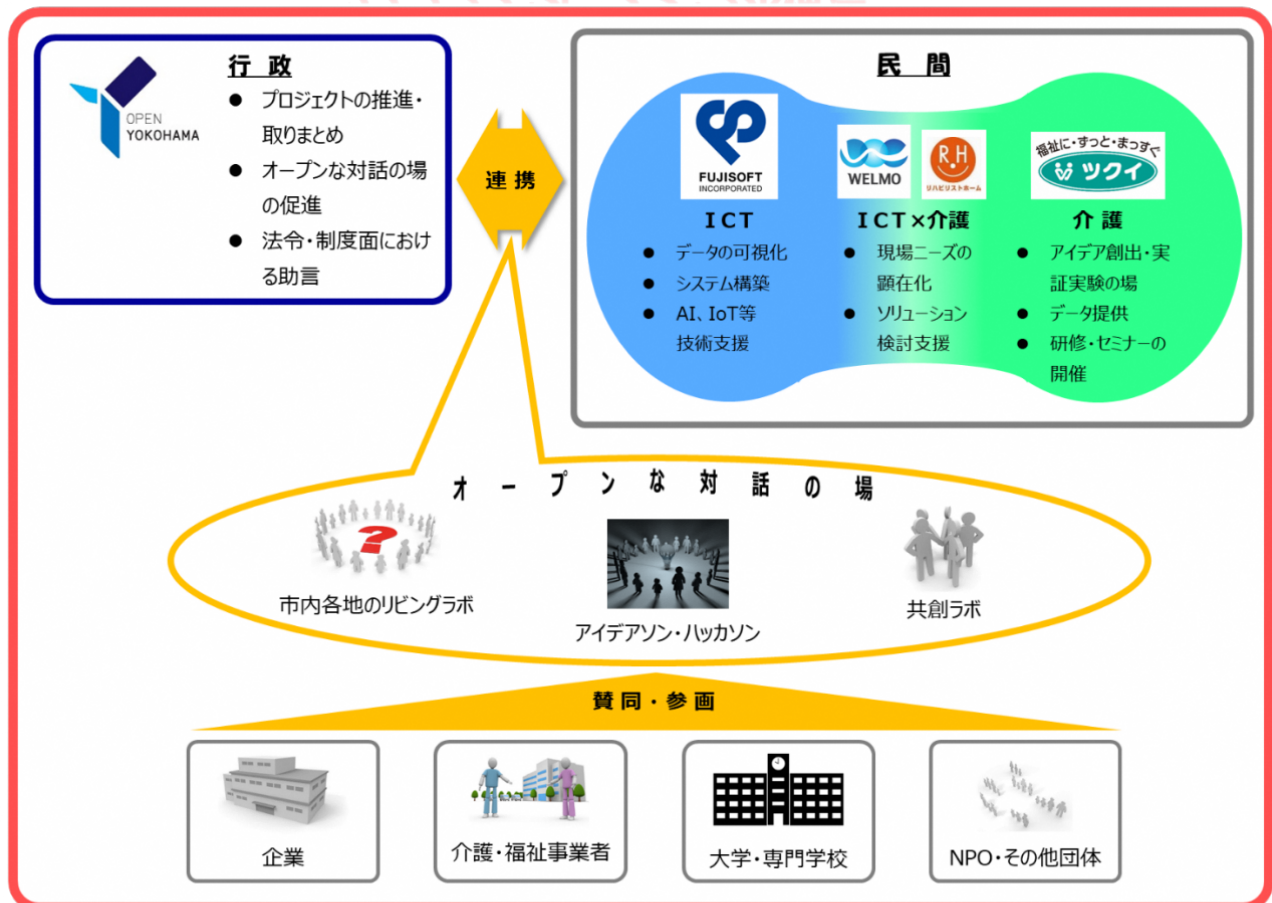
利用者に関する介護や医療などの情報連携により、効率的で質の高いサービス提供を実現することを目指し、民間事業者間における効果的なデータ連携のあり方や、事業者ごとに保有するデータを統合して新たな情報資産として活用できる仕組みについての研究を進めます。

「ケアテック・オープン・ラボ横浜」の始動について

- 新しいケアモデルの確立、介護現場における業務効率の改善や高度化、介護サービスの質の向上等を図ることを目指し、データやAI、IoT等の先端技術の活用のあり方を公民の多様な主体の連携によって研究します。
- 今回締結した研究協定による取組は、協定締結に参加した事業者だけではなく、本協定の趣旨、内容に賛同いただいた企業、介護・福祉事業者などの多様な主体の参画による連携を目指します。
- 取組の推進にあたっては、市内各地で展開されるリビングラボやアイデアソン・ハッカソン、共創ラボなどの対話の場を積極的に活用します。

【取組イメージ】

ケアテック・オープン・ラボ横浜



オープンイノベーションの推進



情報発信



先端技術の活用



イノベーション人材

※ 提示してあるものは一例になります。

締結企業の概要

■ 株式会社ウエルモ

代 表 : 代表取締役 CEO 鹿野 佑介

所 在 地 : 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルディング 18 階
(登記上本店: 福岡県福岡市博多区博多駅東 1-17-1 福岡県福岡東総合庁舎 4F)

事業内容 : 「社会課題を ICT と先端技術の力で解決する」ソーシャル IT ベンチャー。AI やオープンデータなどを活用した革新的なビジネスモデルによって、介護・障害サービスに従事する方々の業務支援に取組み、利用者本意の福祉を目指す。

H P : <https://welmo.co.jp/>

■ 株式会社ジェイアーク

代 表 : 代表取締役 青木 英憲

所 在 地 : 神奈川県横浜市瀬谷区二ツ橋町 318 番地 5

事業内容 : 自立支援・介護予防・認知症予防に特化した介護事業を営む市内企業。大学などの学術機関と連携して運動・口腔・栄養・排泄・リフレという効果の高い 5 つのケアを総合した包括支援プログラムを提供すると共に、多職種に対して連携力と対応力のある「自立支援介護トレーナー」の育成を行い、自立支援の維持・改善に取り組む。

H P : <https://www.j-aok.jp/>

■ 株式会社ツクイ

代 表 : 代表取締役社長 津久井 宏

所 在 地 : 神奈川県横浜市港南区上大岡西 1 丁目 6 番 1 号

事業内容 : 在宅介護事業、有料老人ホーム事業、サービス付き高齢者向け住宅事業等の介護事業を営む市内企業。近年は、地域包括ケアシステムを念頭に地域連携を強化しており、多職種連携による地域の活性化に向け、リビングラボの運営に取り組む。

H P : <https://corp.tsukui.net/>

■ 富士ソフト株式会社

代 表 : 代表取締役 社長執行役員 坂下 智保

所 在 地 : 神奈川県横浜市中区桜木町 1-1

事業内容 : 業務系ソリューション、組込・制御テクノロジー、アウトソーシングサービス等の事業を展開する市内情報通信産業企業であり、グループで 1 万人におよぶ技術者を有する国内有数の独立系 SIer。最近ではデータ連携のあり方を中心に、海外における先進事例の研究など、データ利活用推進に向けた取組みを積極的に行っている。

H P : <https://www.fsi.co.jp/>

問合せ先

【協定内容や取組に関すること】	政策局共創推進課長	梅澤 厚也	TEL 045-671-4394
【地域包括ケアの推進に関すること】	健康福祉局地域包括ケア推進課長	喜多 麻子	TEL 045-671-2439